

## 13章 総合問題13

### 問題

#### 【1】

##### 解答例

本職の画家は、素人の画家が好むような元から美しい風景を忠実に再現するのではなく、美がなく混沌した場所に美や秩序を見出すことに画家としてのやり甲斐を感じる。(77字)

##### 別解

素人の画家はすでに構図の出来上がった風景を描くことを好むが、本職の画家は平凡な風景の中に美を見出し、秩序を創造することに画家としてのやり甲斐を感じる。(75字)

##### 解説

論旨の展開は以下の通り。

〔第1文〕素人画家の好む風景を本職は避ける。

〔第2文〕偉大な風景画家は元から美しい風景は描かない。

〔第3文〕元から美しい風景はそれを忠実に再現するしか扱い方がない。

〔最終文〕美がなく混沌したところに美や秩序を見出すのが本職のやり甲斐である。

↓

反対の性質を持つ2つのもの〔amateur painterとserious professional artist〕の対立点を指摘し、その理由を説明する、という論理の進め方を明確にとらえる。

したがって、基本的には以下の情報を含んでいけばよい：

素人：美しい風景を好む〔それを忠実に再現するだけでいいから〕

本職：美しい風景を好まない〔そうでない風景の方が描き甲斐があるから〕

##### 全訳

素人画家が絵画の題材として最も引き付けられる風景は、力量ある本職の画家が最も避ける風景であるということは意義深いことである。そのままですでに印象的、あるいは美しい題材を描いた者など、偉大な風景画家の中には過去にも現在にもほとんどいない。そのままですでに美しい、あるいはさもないければ人の目を引き付ける風景は、画家に目の前に見えるものを忠実に再現する以外にほとんど何も残してはくれない。これは素人画家には極めて好都合である。なぜなら彼は、自分が描く絵画の構図を決め、その自然の風景の細部を配列し直す必要がないからである。風景自体がすでに画家に成り代わって自らの構図を決めている。しかしながら、力量のある画家はこのような状況を好まない。彼は、素人画家なら平凡だ、あるいは、面白くないと言って退けるであろうと思われる風景の方を好む。専門家がこの種の風景の方を好むのは、彼の画家としての技量に訴えてくるやり甲斐のためである。すなわち美を見出し難いところに美を見出し、風景の構成要素が乱雑に散らばっているところに秩序を創造すること、要するに自然から芸術を生み出すことである。

##### 注

ℓ. 1 ◇ significant = having a meaning; important

- < signify = mean [原義「印」 (= sign) の付いた]
- ◇ the amateur painter [the : 総称 (= Generic) / 以下も同様]
- ◇ find O C [O = which, C = most attractive ...]
- ℓ. 2 ◇ subject = theme
- ◇ serious = having great skill 「娯楽本意でない ; シリアスな」
- ℓ. 5 ◇ otherwise = if not
- < other + wise [= way; manner] 「他の状態で」
- ◇ leave A with B = cause A to have B 「A に B を持たせて去る」
- ◇ faithfully < faithful = loyal
- ℓ. 6 ◇ copy = make a copy of (something)
- ℓ. 7 ◇ compose = construct or create (a work of art)
- < com- [= together] + pose [= put] 「組み合わせる」
- cf. composition (構成物) / composer (作曲家)
- ℓ. 9 ◇ He prefers scenery (that) the amateur painter would reject ...
- would : 仮定法 / 主語 (= the amateur painter) が仮定の意を含む「素人画家であれば...」
- ◇ plain = ordinary or simple; not beautiful
- ℓ. 10 ◇ the challenge (that) it offers ...
- it = this type of scenery
- challenge = difficult, demanding, or stimulating task 「困難さの故にやり甲斐を感じさせる仕事」
- ℓ. 11 ◇ it is not easy to see
- it は see の目的語 / it = beauty
- ◇ where = in the place in which
- ◇ order = neatness; tidiness
- ℓ. 12 ◇ in short = in a few words; briefly

## 【2】

### 解答

- (1) **b** comparison (2) **a** acknowledgment [acknowledgement]  
 (3) **g** sight (4) **d** opposition (5) **e** response

### 解説

本問は 1980 年に東大入試で出題された。一読しただけでは設問の意味が理解しかねるかもしれない。

まず選択肢の ( ) の語を名詞形に変えて、それぞれ前置詞句の意味を確認しておく。

- a** in acknowledgment [acknowledgement] of ~ 「~ を認めて」「~ の返礼に」  
 (= to show thanks and recognition of)
- b** in comparison with ~ 「~ と比較すると」

(= by comparison with [to] ; in comparison to; when compared with)

- c with the exception of ~ 「～を除いては」 (= except)
  - d in opposition to ~ 「～に反対して；(野獸などが) ～に抵抗して」 (= opposing)
  - e in response to ~ 「～に応じて；～に答えて」
  - f to the satisfaction of ~ ①「～の満足のいくように」 (= so that *one* is content, pleased or convinced) ②「～が満足したことに」
  - g within sight of ~ 「～の見える範囲内で」 (= in sight of; able to be seen; able to see)
- 次に (1) ~ (5) を検討する。

- (1) 「その緑色のカーテンはくすんだ灰色の壁に比べて、私にはあまりにも明るすぎる。」  
したがって、 **b** in (comparison) with が正解。
- (2) 「彼はその会社で 30 年間働いたので、経営陣はその功勞の感謝のしるしとして、彼に金時計を贈ることにしている。」  
したがって、 **a** in (acknowledgment [acknowledg (e) ment]) of が正解。
- (3) 「古代における航海は危険に満ちた冒険であり、可能なかぎり陸地を視野に入れて、夜は碇を下ろしておかなくてはならなかった。」  
したがって、 **g** within (sight) of が正解。
- (4) 「人間は自己の利益という観点から見れば統一体であり、足の親指の利益が小指の利益に反する状態におくことはできない。」  
したがって、 **d** in (opposition) to が正解。
- (5) 「その家は古かった。きれいな白ペンキの裏側では、木造部はひびが入って、虫に食われていた。彼がたたき金をためらいがちにトントンと叩くと、それに応じてお手伝いさんが戸口に出てきた。」  
したがって、 **e** in (response) to が正解。  
○ uncertain 「ためらいがちな；自信なげな」  
cf. an *uncertain* attitude (あやふやな態度)

### 【3】

#### 解答

「全訳」下線部参照。

#### 全訳

ジョンは、今や大学に入って2年目で、春休みで帰省していた。ジョンの母は、ジョンと真面目な話をする機会を得た。あなたはどこで生活したいと思っているのですか。ジョンには明確な考えはなかった。あなたは何をしたいと思っているのですか。ジョンはこの質問に対しても同様に明確な考えはなかった。しかし問い詰められると、ジョンはできればどんな職業にも一切就かずにいたいのですがと答えた。ジョンの母は衝撃を受けることもなく、そのまましばらく裁縫を続けた。

**注**

- ℓ. 2 ◇ Did he know where he wanted to live? 《描出話法》  
= She said, "Do you know where you want to live?" 《直接話法》  
= She asked whether he knew where he wanted to live. 《間接話法》  
○ 描出話法は小説でよく使われる語法である。  
○ know = have (something) in the mind
- ℓ. 3 ◇ do  
< What do you do? = What is your occupation? (職業を問う表現)  
cf. 職業を尋ねる表現としてWhat are you?は通常用いない点に注意。ニュージャージー州、テキサス州、ジョージア州のインフォーマント全員が、What are you?と尋ねられてもI'm a human being.としか答えられないと言っている。
- ℓ. 4 ◇ but (when pressed) remarked that … 「しかし圧された時に発言した… 《直訳》」  
○ press = urge strongly  
○ remark = say  
◇ should prefer to … < would [should] like to …  
○ should 《仮定法》「もしそれが可能であれば…したい (控え目, ためらい, 丁寧)」という気持ちを表す。  
◇ be free of 「(拘束・義務・税などから) 免れている」  
cf. be free with ((金の使い方が) 大まかだ)  
◇ quite = completely  
◇ any : 「種類の非限定 (任意)」を表している。
- ℓ. 5 ◇ go on …*ing* = continue …*ing* < on = continuously  
◇ sew = join, fasten, or repair by making stitches with a needle and thread or a sewing machine  
cf. a sewing machine (ミシン／縫うための機械)

**【4】**

**解答**

- (1) 乗客が皆一斉に呼吸をし始めたちょうどその時  
(2) **a**            (3) **c**            (4) **b**  
(5) 外国人は嫌な思いをさせられるということ。[外国人は不愉快な扱いを受けること。]  
(6) similar being required for all  
(7) **c**            (8) **b**            (9) **c**            (10) **a**            (11) **a**  
(12) has spoken English to an American [has spoken in English to an American]

**解説**

- (1) 全体が、過去の出来事であるのに現在時制で書かれているが、これは「歴史的現在、劇的現在」と呼ばれる手法で、過去の事柄をあたかも目の前の出来事のように伝える場合に用いられる。訳出する際は、統一されていれば、現在形でも過去形でも構わない。(解答では過去形で統一してある。) 歴史的現在は2003年の下線部訳でも出題さ



れている。以下の例文で研究してほしい。

Just at that moment down *comes* the rain. John and Mary *look* at each other, *stand* up and *run* hurrying into the cottage.

(ちょうどその時、雨の襲来である。ジョンとメアリーとは互いに顔を見合わせ、立ち上がり、急いで小屋へ駆け込むのだ。)

Joan of Arc was born in 1412. At the age of 15 she *hears* voices urging her to help the Dauphine against the English, and making her way into his presence she at length *persuades* him to believe in her heavenly mission.

(ジャンヌダルクは1412年に生まれた。15歳の時、英国に対抗してフランス皇太子を助けよとの励ましの声を聞き、皇太子の面前に進み出て、ついに彼女の聖なる使命を信ずるように殿下を説き伏せた。)

- (2) 選択肢も歴史的現在で書かれている。
- a 「私は座ったままにいるのを許してもらいたいと思う。」
  - b 「私はすぐに座席に座ってそこにとどまる。」
  - c 「長い間座席を離れるようなことになってほしくない。」
  - d 「とっさに、私は座席にとどまろうと決心する。」
- (3)
- a by anything 「いかなるものによっても」
  - b for anything [I would notと共に] 「いくらくれても；決して」  
cf. I would not do it *for anything*. (僕はどうあってもそれはしない。)
  - c if anything 「もし何かあるとすれば」
  - d ~ or anything 「～や何か」
- (4)
- a denial 「否定」 → the denial of power (権力の否定)
  - b display 「誇示」 → the display of power (権力の誇示)
  - c finding 「発見」 → the finding of power (権力の発見)
  - d lack 「欠如」 → the lack of power (権力の欠如)

○空所を含む文のthey seemのtheyは前のthese searchesを受ける。

「こうした検査はたいがい麻薬や密輸を発見するためのものであると聞いていたが」という内容を受けて、「私にはそれが( ) のためのように思えた」と述べている。

powerは「力；権力；権限」の意味と考えられるので、この文脈に適した語は**b**の「誇示」である。

- (5) I've learned that — contrary to *what I had expected* — foreigners are seldom bothered here. は、「予想に反して、外国人が嫌な思いをさせられるということはめったにないということを知った。」という内容なので、what I had expectedは、*foreigners are bothered here*ということである。
- (6) ○空所の前のitはmy long black raincoat (厳密にはa long black raincoat) を受けている。前後の内容から判断してit以下は「イランではすべての女性に人前でそういうコートあるいはそれと似たようなものを着ることが義務付けられている」といった意味になると予想できる。

- 主語は「コート」であるので動詞が required だとすると受動態になるはずだが、be動詞がbeingしかない。よってここは分詞構文になっていると判断する。文の主語と分詞構文の意味上の主語が一致しないために分詞の前に主語が置かれる「独立分詞構文」と呼ばれる表現である。
- まず, similarは「似たようなもの」という意味を表すのにsomethingの直後に置く。続いて受動態の分詞構文being requiredが続く。あとはfor all (women) として「すべての女性に対して」の意味になるようにすれば完成である。
- (7) I remember someone back home (    ㉔    ) entering Iranに当てはまるのは、
- a 「(イランに入国した) 後は、警備兵の発言に背くことのないよう注意してくれた」
  - b 「(イランに入国する) 前に、基本的なペルシャ語をある程度身につけておくように忠告してくれた」
  - c 「(イランに入国する) 前に、自分のパスポートにカバーをつけておくように、注意してくれた」  
(ℓ. 33 ~ 34 suddenly feeling that *United States of America* is printed across the front much too boldlyより。)
  - d 「(イランに入国した) 後は、忘れずにパスポートを携帯するように注意してくれた」
- (8) But then immediately (    ㉕    ). My visa says *Journalist*.に当てはまるのは、
- a 「私はジャーナリストであればよかったのと思った」
  - b 「私は正しいことをしたのだろうかと思った」
  - c 「私は自分があまりにも観光客のように見えることに気づいた」
  - d 「私は英語で‘tourist’と言うべきだったことに気づいた」
- (9) He (    ㉖    ) my picture long and hard とあるので、空所㉖に入るのは他動詞でなくてはならない。したがって、b gazesは除外 (gaze = *vi.* look steadily and intently)。それぞれの他動詞としての語義は、
- a detect = ① discover the presence of    ② discover or investigate (a crime or criminal)
  - c study = examine carefully
  - d watch = look at (to see what is done, to guard against something, to be ready, etc.)
- したがって、cが適当。
- (10) All of the other passengers are now back on the bus, and I wonder how much longer the guards will keep me. What will happen, I worry, (    ㉗    ) ? は、筆者が不安になっている状況を描写しているところなので、なぜworryするのかと考えれば当てはまるのは、
- a 「もしもバスが私を乗せずに行ってしまったら」
  - b 「もしも天気が突然変わったら」
  - c 「もしもバスのガソリンが無くなったり、故障したりしたら」
  - d 「もしも何人かの他の乗客がバスから降りるように頼まれたら」
- run out of = use up

○ gas = petrol; any mixture of flammable gases used for lighting or heating

○ break down = suddenly stop functioning

- (11) there are no other buildings ( (k) ). は, No other buildings are ( (k) ).  
(A) とすると, 新情報のno other buildingsが文頭にくるので, There を文頭に置いてワンクッションおいた言い方である。我々は (A) の構造型で考えると考えやすい。  
前後の文は,

We're out in the middle of the desert; Hardened dust-white plains, broken only by thin grass, stretch in all directions. とあるので, 当てはまるのは

a in sight 「視界に」

b on vision 「映像で」

c in my eyes 「私の見解では」

○ eye = a person's opinion or feelings

d to the view 「公に；公然と」

- (12) You are the first American we have met. が後方にあることに着目。

○ has spoken English to an American

○ has spoken in English to an American

○ has spoken to an American in English

などが考えられる。本文のℓ. 33～34に United States of Americaとあるので, a foreignerではなくan Americanとしないと減点される。

#### 全訳

私がゲルマーンとヤズドの間の砂漠地帯をバスで移動していると, バスは検問所で停車した。イランの主要路では検問所は別に珍しいことではなく, 数百マイル走っては停車し, 運転手が書類を持って降りて行くのもすっかり見慣れてしまった。時には深緑の制服を着た警備兵がバスに乗り込んできて, 左右に目を配りながら通路を行ったり来たりした。薄暗い車内灯の光で拳銃がギラギラと光っていた。

今回もそうだった。若い警備兵が入って来ると車内は静まりかえった。私たちは皆, 決然と視線を動かさず, まっすぐ前を向いていた。無視するそぶりをしていれば, 警備兵も私たちを見ないでいてくれるのではと期待しているかのようだった。私たちは警備兵がペルシャ絨毯を敷いたバスの通路を端まで歩き, Uターンし再び戻って来る足音に耳を澄ませていた。警備兵はバスの前部まで戻るとドアに向けて身を横にした。しかし, ①乗客が皆一斉に深呼吸を始めたちょうどその時, 驚いたことに警備兵は突如として向き直り, 今度は複数の乗客の肩を軽くたたきながら再び通路を歩き始めたのだった。肩をたたかれた乗客たちは所持品をまとめてゆっくりとバスから降り, コンクリートブロック造りの建物の入り口の階段を上がって行った。

私は体をこわばらせて座ったまま, 警備兵が私に, そしてルサリ (頭を覆うスカーフ) からはみ出している金髪に気づきませんようにと願っていた。これまでも警備兵がバスから乗客を引っ張り降ろしているところは見たことがあり, いつも5分か10分以内に乗客は車内に戻っていたので決して深刻な事態とも思えなかったが, それでも私は座席にとどまっていたかった。

警備兵がバスから降りたので私はほっとした。それにしても、何かを探していたのだとしたら、何を探していたのだろうか。こうした搜索はたいい麻薬や密輸に対するものであると聞いていたが、どちらかと言えば私には権限を誇示するためのもののように思えた。

警備兵がバスに戻って来た。私にはその理由が直感的にわかった。警備兵が私を指差した。

それでも本当に私なのか完全には確信がなかったので、私？と身振りで訊いた。イランで2カ月暮らしてみてもわかったのは、予想に反して外国人が嫌な思いをさせられるというのはめったにないということだった。

そうだ、と警備兵はうなずいた。

私はバスから降ろされた他の乗客をまねて、所持品をまとめて立ち上がった。皆が私を、例によって見つめていた。乗客の中で私だけが外国人だったのだ。

バスから降りる時、私は自分の着ている長い黒のレインコートを踏んづけて転びそうになった。イランの女性は皆、人前ではそのような服を着ることになっているのだ。私の心臓は激しく鼓動していた。先の警備兵と彼の同僚の警備兵が検問所の建物の入り口の階段で私を待っていた。彼らの足元には私のカバンが置いてあったが、それはバスのトランクから引きずり出されたものだった。まるで熟す前のずんぐりしたスイカのようなようだった。

「パスポート」と例の若い警備兵がペルシャ語でどなった。

私はふと表紙の「アメリカ合衆国」の文字があまりにもくっきりと印刷されていると感じながら、パリの、紺色の証書を警備兵に手渡した。そう言えば故郷のアメリカの知人がイランに入国する前に、パスポートにカバーを付けた方がよいと教えてくれたのを思い出した。でも、もう間に合わない。

「ビザは？」

私はパスポートの該当ページを開いて見せた。

「どこから来たんだ？」警備兵のペルシャ語には聞いたことのない変わったなまりがあった。

「ケルマーン。」と私は言う。

「どこに行くんだ？」

「ヤズド。」

「観光か？」

私はうなずいた。私がこのイランにやって来たのは、サファファナメー（ペルシャ語では「旅行記」ないしは、文字通りには「旅の手紙」を意味する）を書くためであると言って、事態をややこしくする必要はないと思ったのだ。うなずいてすぐ、下手なことをしたかもしれないと思った。ビザには「ジャーナリスト」と書いてあったからだ。

若い警備兵はゆっくりとパスポートのページをめくり、入国スタンプや裏面に書かれている規則や規定を調べていた。彼は私の写真を長い間じっと見つめ、それからにこりともしない同僚にパスポートを渡した。そしてその同僚も、今とまったく同じ質問をくり返すのだった。

「どこから来たんだ？」

「ケルマーン。」

「どこに行くんだ？」

「ヤズド。」

「観光か？」

今度も私はうなずいた。今さら返事の内容を変えることはできなかった。

2人目の警備兵は最初の警備兵にパスポートを返し、その警備兵はしぶしぶ私にパスポートを返した。私はそのすべすべした若者らしい顔を見て、まだヒゲを剃る年齢にもなっていないのかしらと思った。

「これはあなたのスーツケースか？」私のカバンを見て聞いた。

「ええ。」と答えて、私は体を動かしてカバンを開けようとした。

少年は首を横に振った。

すでに他の乗客は皆バスに戻っていたので、あとどのくらいしたら解放してくれるのか気になった。もしバスが私を置いて行ってしまったらどうしよう。私は不安になった。ここは砂漠の真ん中だ。見渡す限り、他に建物はない。砂ほこりで白っぽく見える固い地面の平原が四方八方に広がっていて、あとはまばらに草が生えているだけであった。空は風景から色彩や水分を吸い取ってしまっているかのような、淡い色の金属でできたドームのように見えた。

最初の警備兵がせき払いをして、じっと私を見つめた。彼の目は珍しい青みがかった灰色で、長いまつ毛で縁取られていた。私が以前に会ったかなりの数のイラン人と共通の目だった。彼は同僚に視線を向けて、ひそひそとささやき合った。2人の額を汗がつたって流れ落ちていた。私の額にも汗がつたっていた。

そして最初の警備兵が肩を張り、息を深く吸い込んで、顔を赤らめた。“Thank you. Nice to meet you.”と丁寧にして、ごちそうなく、恥ずかしそうに英語を言った。

“Hello. How are you?”と2人目の警備兵も最初の警備兵と同じくらい顔を真っ赤にしながら言った。彼はペルシャ語に戻ったが、私に理解できたのは、その一部だけであった。「僕たちはこの日を決して忘れない。あなたは僕たちが会った初めてのアメリカ人なんだ。イラン・イスラム共和国へようこそ。アッラーと共にあらんことを。」

**注**

- ℓ. 1 ◇ through = moving in one side and out of the other side of (an opening or place)  
cf. though = despite the fact that  
thorough = complete with regard to every detail; absolute  
thought = an idea or opinion produced by thinking or that occurs suddenly in the mind
- ◇ desert [dézərt] = a waterless, empty area of land with little or no vegetation  
cf. desert [dɪzɜːrt] = ① leave (someone) without help or support  
② leave (a place), causing it to appear empty  
③ illegally run away from military service  
dessert [dɪzɜːrt] = the sweet course eaten at the end of a meal
- ◇ Kerman 「ケルマーン」 イラン南東部の都市、絨毯などの産地
- ◇ Yazd 「ヤズド、イエズド」 イラン中部の都市、イランのゾロアスター教の中心地（またはYezd）

- ◇ pull over = (used about a vehicle or its driver) slow down and move to the side of the road
- ℓ. 2 ◇ checkpoint = a barrier where security checks are carried out on travelers
  - ◇ common = occurring, found, or done often, not rare
  - ◇ highway = a main road
    - ※ 日本語のハイウェイ「高速道路」は, 《米》ではexpressway, thruway, 《英》ではmotorwayという。
  - ◇ grow accustomed to = get used to; become familiar with through experience
- ℓ. 3 ◇ stopping (every hundred miles or so) to watch ~
  - every: used to indicate something happening at specified intervals
  - ~ or so = about ~
  - ◇ climb out = climb out of the bus 「バスから降りる」
    - ※ 通常with some haste or effortの意味合いを含む。
  - ◇ (with his) papers in hand
    - この省略は頻出。
    - with + O + C 「O を C の状態にして」
    - papers = documents
- ℓ. 4 ◇ guard = a person who guards or keeps watch; a soldier or group of soldiers whose duty it is to watch against danger, *e.g.* a soldier acting as a sentry or sentinel, or *one* who is in charge of a prisoner or prisoners
  - ◇ in = wearing
- ℓ. 5 ◇ aisle [áil] ← 発音頻出 = a passage between rows of seats in a church or between seats in a theater, hall, railway carriage, train or bus.
  - ◇ , (his) eyes flicking from side to side, (his) pistol gleaming in the shadowed interior light (独立分詞構文)
    - flick = make a sudden sharp movement
    - gleam = shine brightly with reflected light
    - shadowed < shadow = darken
    - interior = situated on the inside or having to do with the inside; inner
- ℓ. 6 ◇ This is one of those times.
  - = This time we are stopped is one time when the guard enters the bus.
  - ℓ. 4 ~ 5 の Sometimes a guard in dark green uniform enters the bus and walks up and down the aisle, eyes flicking from side to side, pistol gleaming in the shadowed interior light.を受けて, This is one of those times.とあるので, 「今回もそうだった」 くらいの意味で用いられている。
  - ◇ fall silent
    - fall + C = become + C
    - ◇ as 「同時」
- ℓ. 7 ◇ determinedly = in a determined way

○ determined = having firmly decided to do something or to succeed, even if it is difficult

◇ stare = look at someone or something with great concentration and the eyes wide open

◇ straight = directly

◇ as if (by our pretending to ignore the guard,) he will ignore us.

○ as if: used for saying how someone or something appears

※ as ifが主節の動詞の示す時と同じ時の事柄を述べる場合、話し手が非事実、疑問と思っていれば仮定法過去、事実と思っていれば直説法を用いる。

○ ignore = deliberately take no notice of

ℓ. 8 ◇ We listen to his footfalls

sound down the Persian carpet  
↳ that lines the aisle  
  
,  
turn  
  
,  
and  
come back again

○ listen to + O + … 「Oが…するのに耳を傾ける」

○ sound = make a sound

○ that : 関係代名詞

◇ line = cover the inner surface of (something) with a layer of different material

cf. Many of the walls are *lined* with sponsor art exhibits.

(壁の多くが広告展示物で覆われている。)

ℓ. 9 ◇ reach = get to

◇ make a half turn 「半回転する→90度横に向きを変える」

ℓ. 10 ◇ just as we begin a collective deep breath

○ just as … 「…するちょうどその時」

○ just = exactly

○ begin a collective deep breath 「皆一斉に深呼吸をする」

○ collective = done by or belonging to all the members of a group

※ collective は日本語に訳す場合工夫が必要。

Ex. *collective* bargaining (団体交渉)

*collective* leadership ((共産主義国の) 集団指導体制)

*collective* responsibility (集団責任)

*collective* decision (集団意見決定)

*collective* sigh of relief (一斉にもれる安堵のため息)

○ a deep breath = a breath in which *one* breathes a lot of air in or out

◇ complete *one's* turn 「回転を完成させる→Uターンする」

- turn = the act of turning; a turning movement
  - ℓ. 11 ◇ tap ~ on the shoulder 「～の肩をたたく」
    - tap = strike lightly
    - ◇ various = many; several
  - ℓ. 12 ◇ gather together = bring together objects that have been spread about
    - ◇ belongings = a person's movable possessions
    - ◇ move slowly {
 

out of the bus  

and

  
 up the steps of a cement block building
    - step = a flat surface on which to place *one's* foot when moving from one level to another
    - ◇ a cement block building 「コンクリートブロック造りの建物」
  - ℓ. 14 ◇ sit frozen 「体をこわばらせて座っている」
    - V    C
    - frozen < freeze = make someone become suddenly motionless with fear or shock
- ◇ , hoping 

that

 the guard will not notice {
 

me  

and

  
the blond hair  
 ▲ — sticking out of  
       my *rusari* ,  
       or  
       head scarf
- stick out of ~ 「～から飛び出す」
  - stick: if you stick a part of your body somewhere, you put it in a position where other people can see it.
  - or: introducing a word meaning the same as or explaining a preceding word or phrase
  - ℓ. 15 ◇ pull off = remove (a person) with some force
  - ℓ. 17 ◇ I'd just as soon remain in my seat (as not)
    - ◇ would [had] just as soon A as B 「Bするよりむしろ A したい」: used to say that someone would prefer to do something or would prefer something to happen
    - A と B は動詞の原形。
    - soon = readily
    - 東大ではこの構文は頻出
  - ℓ. 18 ◇ relax = become less tense, anxious, or rigid
    - ◇ , wondering what, if anything, he is looking for
    - 分詞構文 (付帯状況)



○ wonder = be anxious to know

○ if anything

① 「どちらかと言えば」

He isn't better; *if anything*, he is getting worse.

(彼はよくなっていません。むしろ、だんだん悪くなっています。)

② 「もしあるにしても、いずれにしても」

We don't remember what, *if anything*, Dr. Masumura said.

(増村博士がもし何か言ったとしても、何であったか我々は覚えていません。)

○ if (there is) anything, he is looking for と there is を補って考えてもよい。

ℓ. 19 ◇ I've been told that ... 「…と聞いている」

*cf. I'm told that* his father is a magician. (彼の父は奇術師だそうだ。)

◇ search = an act of searching

◇ drug = ① a substance used as medicine ② *an illegal substance taken for the effects it has on the body*

◇ smuggling < smuggle = move (goods) illegally into or out of a country

ℓ. 21 ◇ instinctively = by instinct

< instinct = the inborn or natural tendency or impulse to do certain things and behave in a certain way, without conscious thought, experience or teaching

◇ I know why (he has been back).

◇ point = direct someone's attention in a particular direction by extending *one's* finger

ℓ. 22 ◇ gesture = move your hand, arm, or head to tell someone something, or show them what you mean.

◇ , still not completely convinced that he wants me : 準補語。

※ 分詞構文 (理由) と考えてもよい。

○ not completely [部分否定]

ℓ. 23 ◇ learn = gain as knowledge

◇ contrary to = in opposition to

ℓ. 24 ◇ bother = worry, disturb, or upset

ℓ. 25 ◇ nod = ① *lower and raise one's head briefly to show agreement or as a greeting or signal*

② let *one's* head fall forward when drowsy or asleep

ℓ. 26 ◇ copy = imitate the behavior or style of

◇ fellow = sharing a particular situation or condition

ℓ. 27 ◇ as usual = in the way that happens or exists most of the time

ℓ. 28 ◇ nearly = almost, but not quite or not completely

◇ fall over = fall forward and to the ground, usually slipping or tripping

◇ require = instruct or expect (someone) to do something

ℓ. 29 ◇ in public = publicly; openly

◇ knock against = hit or strike something, often causing damage or pain

- ◇ chest = the front surface of a person's body between the neck and the stomach
- ℓ. 30 ◇ colleague = a person with whom *one* works
- ◇ guardhouse = a building used to house a military guard or to detain military prisoners
- ◇ At their feet is my bag.  
副詞句    V    S
- at *one's* feet 「～の足もとに」
- ℓ. 31 ◇ drag = pull along forcefully, roughly, or with difficulty
- ◇ belly = ① a part of the body between the chest and thighs; abdomen    ② *the rounded underside of a ship or aircraft*
- ◇ fat = thicker than other objects of the same type
- ℓ. 32 ◇ bark = say (a command or question) suddenly or fiercely
- ◇ Persian = the Persian language
- ℓ. 33 ◇ hand = give to
- ◇ crisp = firm, dry, and brittle
- ◇ document = a piece of written, printed, or electronic matter that provides information or evidence
- ℓ. 34 ◇ across = from one side to the other of (something)
- ◇ front = the part of an object that presents itself to view or that is normally seen first
- ◇ boldly = clearly
- ◇ someone back home 「故郷の知人」  
↑
- ℓ. 36 ◇ visa [ˈvɪzə] 「ビザ」 発音注意
- ℓ. 37 ◇ appropriate = correct or suitable for a particular time, situation, or purpose
- ℓ. 38 ◇ accent = a way of pronouncing a language
- ℓ. 44 ◇ complicate = make more intricate or confusing
- ◇ matters = a situation that you are in or have been describing
- ℓ. 45 ◇ for: used to say what a word or sign means
- ◇ travelogue = film, book, or illustrated lecture about a person's travels
- ◇ literally = according to the most basic to original meaning of a word or expression
- ℓ. 47 ◇ flip through = scan (a book, etc) , turning the pages with a quick movement of the thumb
- ℓ. 48 ◇ immigration = the process of entering another country in order to live there
- ◇ the rules and regulations    listed in the back  
↑
- regulation = a rule made by an authority
- ℓ. 49 ◇ hard = using a lot of effort, energy, or attention

- ℓ. 57 ◇ reluctantly = unwillingly
- ℓ. 58 ◇ smooth = (of the skin) free from hair, beard, etc.  
 ◇ old = having reached a certain age
- ℓ. 63 ◇ keep = detain
- ℓ. 64 ◇ harden = make hard  
 ◇ dust-white 「砂ほこりで白っぽくみえる；ほこりのように白くみえる」
- ℓ. 65 ◇ plain = a large area of flat land with few trees  
 ◇ broken only by thin grass  
 ○ hardened dust-white plainsが, thin grassによってbreakされているのだから, 平原にまばらに草が生えていることを描写していると考え。  
 ○ thin = having few parts or members in relation to the area covered or filled  
 ◇ in all directions = in every direction 「四方八方に」  
 ◇ The sky is a pale metallic dome sucking the color and moisture out of the landscape [隠喩]  
 ○ pale = of a light shade or color  
 ○ metallic = of a metal or metals  
 ○ dome = a rounded roof of a building, with a circular base  
 ○ suck = draw liquid into the mouth  
 ◇ moisture = tiny drops of water or other liquid in the air, in a substance, or condensed on a surface  
 ◇ landscape = all the visible features of an area of land
- ℓ. 67 ◇ clear *one's* throat = cough or in some other way get rid of something in the throat that makes breathing or speech difficult  
*cf.* Kelly *cleared his throat* and began to talk. (ケリーは咳払いをして, 話し始めた。)  
 ◇ intently  
 < intent = giving careful attention to something so that you think about nothing else
- ℓ. 68 ◇ frame = surround so as to create an attractive image  
 ◇ lash = eyelash; one of the hairs on the edge of the eyelid  
*cf.* eyeball = all of the eye, without the lid and what surrounds the eye  
 eyebrow = the bony ridge above the eye and the hair growing on it  
 eyelid = the upper or lower cover of skin and flesh by means of which we open and shut our eyes  
 ◇ more than a few 「割と多くの；かなりの数の」  
 ※以下の米国人インフォーマントの説明を参考。  
*More than a few* means fairly many; but this too is relative.  
 Since the population of Iran is about 69 million, *more than a few* could amount to millions. Again, these terms are indefinite and relative. The author actually has no idea how many Iranians have “smoke blue eyes framed by long lashes”

and neither does anyone else. Iran doesn't even conduct scientific census. It's just a type of eye appearance that caught her notice. As a travel writer she is just recording an impression. The author thinks that the type of eyes she described are common enough to be worth mentioning. That is all that can be made of the statement. Indefinite expression by their nature cannot be paraphrased as definite ones.

- ℓ. 69 ◇ whisper = speak very softly using *one's* breath rather than *one's* throat  
 ◇ slip = move smoothly and easily on a smooth surface; slide
- ℓ. 70 ◇ forehead = the part of the face above the eyes
- ℓ. 71 ◇ straighten *one's* shoulder 「肩を張る」  
 ○ straighten = make straight  
 ◇ take a deep breath = breathe in a lot of air at one time  
 ◇ blush = become red in the face through shyness or embarrassment
- ℓ. 72 ◇ stiff = not relaxed or friendly  
 ◇ self-conscious = nervous or awkward because very aware of *oneself* or *one's* actions  
 ○ stiffもself-consciousも形式上はEnglishを修飾してはいるが、stiffもself-consciousも実はheの状態である点に注意。以下の例を参考。  
*Ex. Tennis is a thirsty game on a hot day.* (テニスは暑い日には喉が渴くゲームだ。)  
*He lay his head upon a sleepless pillow.* (彼は眠れぬ枕に頭を横たえた。)  
*He made a living by earning an honest penny.*  
 (彼はこつこつ真面目に働いて生計を立てた。)  
*She stared at the man in white astonishment.*  
 (彼女はびっくりして真っ青な顔でその男を見つめた。)
- ℓ. 73 ◇ furiously < furious = strong; not controlled
- ℓ. 74 ◇ fall back into Persian 「ペルシア語に戻る」  
 ○ fall back into = go back to doing something or behaving in a way which you did before  
 ◇ which : 先行詞はPersian
- ℓ. 75 ◇ Islamic Republic of Iran 「イラン・イスラム共和国」  
 ◇ Go with Allah 「アッラーと共にあらんことを；アッラーと共に」  
 ○ Allah = the Muslim name for God

## 【5】

### 解答

「全訳」下線部参照。

### 全訳

どの程度までマニング博士の祈りが応えられたかは疑問のままであらざるを得ないが、もしも祈りが必要とされていたのであれば、それはその時のフローレンス・ナイチンゲールにとってであったということだけは確かである。というのも、タイムズ紙の特派員の至急電や

数多くの私信によって英国の一般大衆に伝えられていた、スクータリの情勢に関する報告は陰鬱なものであったが、しかし現地の現実はそれ以上に見通しが暗いものであることが判明していたからである。

**注**

- ℓ. 1 ◇ extent = degree  
 ◇ prayer = solemn request to God
- ℓ. 2 ◇ this much 「これほどの量→これほど」  
 ○ this = to this degree; so / much  
 ◇ that : this muchの内容を示す。  
 ◇ ever = at any time : ifの意味を強調。  
 ◇ Florence Nightingale : 近代看護法の創始者 (1820 ~ 1910), クリミア戦争 (1853 ~ 1856) に従軍。
- ℓ. 3 ◇ For dark as had been the picture of ...  
 ○ 全体の構造は

For

[dark as had been the picture of the state of affairs at Scutari, revealed to the English public in the dispatches of the *Times* correspondent and in a multitude of private letters,]  
 (yet) the reality turned out to be darker still.

つまり、接続詞 [M,] S + V のパターン。

このパターンは

- ① M の前後にコンマがある場合
- ② M の前後にコンマがない場合
- ③ 本問のように、M の後ろにのみ、コンマがある場合

の3パターンがある。このパターンは、調子に乗って誤読してしまう受験生が多い盲点の1つ。

◇ for ... 「というのも…だから」

◇ 形容詞〔副詞〕 + as ... 「…であるけれども」

後続のSVが倒置されているのはS (= the picture of ~) に焦点が置かれているため。

◇ state of affairs = situation

< affair = matter

◇ , revealed to

○ 意味上の主語は、the picture。

○ 「分詞構文の意味上の主語は主節の主語と同じ」という原則を破っている点に注意。

○こういった分詞節は、非制限用法の関係詞節の縮約形と考えるとよい。

cf. The political function of the schools is to teach Americanism, *meaning* not merely political and patriotic dogma, but the habits necessary to American life.

(学校の政治的役割は、アメリカ精神を教えることであり、それは政治的かつ愛国的な教義のみならず、アメリカでの生活に必要な習慣も意味している。)

○ reveal = show; display

ℓ. 4 ◇ the public = people in general

◇ dispatch = report sent to a newspaper by one of its writers

< dispatch = send off

◇ the *Times* 「英国の日刊紙」

◇ correspondent < correspond = communicate by letters

◇ multitude = large number

ℓ. 5 ◇ yet 「けれども；それでもなお」

◇ turn out (to be) C = prove (to be) C

◇ still = even : 比較級を強調する副詞。

## 【6】

### 解答

- (1) Peter's mother told him to get ( **a** *rid* ) ( **b** *of* ) the ants in the kitchen.
- (2) Peter decided not to spray the ants with ( **c** *poison* ).
- (3) It would have ( **d** *embarrassed* ) Peter's sister if her friends had seen what her brother was doing.
- (4) According to the author of the book, we can learn a lot by observing ( **e** *social* ) ( **f** *insects* ) such as ants.
- (5) Weaver ants can communicate by producing chemicals, which are ( **g** *smelled* ) or ( **h** *tasted* ) by other ants. [reversed order OK]
- (6) They fold ( **i** *leaves* ) together and stick them together with the ( **j** *silk* ) made by immature ants.
- (7) Sometimes the ants make living ( **k** *chains* ) to do their work.
- (8) **m**

### Script

#### CD 2 15 ~ 17

W : What are you doing on the kitchen floor, Peter?

M : I'm feeding the ants.

W : You're *what*?

M : I'm feeding the ants.

5 W : Peter, why do you have to be so weird? What if I had brought some friends home?

Don't you think it would be a little embarrassing for me to have them see you on the kitchen floor feeding ants? Anyway, Mom asked you to get rid of the ants. Shouldn't you be spraying them with poison instead of feeding them ice cream?

M : What are you getting so upset about? I'm just observing their behavior. That's  
10 not strange. It's interesting.

W : But Mom wanted you to get rid of them, not feed them.

M : Well, I was going to, but I got a book about ants from the library to see if there was a better way to get rid of them than spraying the kitchen with poison. You know the poison we use to kill insects is not very good for us either.

15 W : What did the book say? Convince them to leave politely by feeding them ice cream?

M : No. It said something like, "Be careful of little lives. Feed them crumbs of cake. They also like whipped cream. Get a magnifying glass. Watch them closely." So I did, except that we didn't have any whipped cream so I used ice cream.

20 W : Of all the books in the library you managed to find one written by someone as strange as you.

M : The book was by a very famous naturalist. You should read some of his essays before you make fun of him. He says we can learn a lot from observing little creatures, especially the social insects like ants and bees. Although ant colonies are  
25 very different from human societies, they are highly developed.

W : Really?

M : For example, the African and Asian weaver ants that live high up in the tree tops of tropical forests. These ants dominate their territory because of the size of their colonies. They can contain more than 200,000 workers.

30 W : So there are a lot of ants in the trees?

M : That's not the point. The point is that these ants have highly developed systems of

communication that allow them to control areas that are huge compared to their tiny body size. While we communicate mainly by sight and sound, they use taste and smell. The weaver ants have the most complex known system of chemical communication. They can give many kinds of messages by producing chemicals, which are smelled or tasted by other ants. The book had some pictures of ants touching each other to pick up signals.

W : Why are they called weaver ants? Is it because they make cloth or because they were discovered by somebody named Weaver?

M : They don't make cloth, but they do have a technique that is similar to sewing. They make their nests by folding leaves together and sticking them together with the silk produced by immature ants. The larger ants pick up their younger sisters and use them like living sewing machines. It sounds strange, but they had photos of it in the book.

W : Wow, I've never seen the ants in our kitchen do anything like that.

M : Sometimes the ants make living chains to fold the leaves, with the ants grabbing each other around the waist and pulling the edges of the leaf together. The book had pictures of them doing it. Sometimes they make more than one chain to get the job done.

W : OK, I admit that ants can be interesting, but good luck convincing Mom to buy ice cream for the ants. (589 words)

**全訳**

W : キッチンの床の上で何をしてるの、ピーター？

M : アリにエサをやってるんだ。

W : 何ですって？

M : アリにエサをやってるんだよ。

W : ピーター、あなたってどうしてそんなに変わってるの？ 私が友達を家に連れてきていたらどうなったと思う？ あなたがキッチンの床でアリにエサをやっているところを見られたら、私が困った思いをするって思わないの？ とにかく、お母さんからアリを始末しなさいって言われてるでしょ。アイスクリームをやる代わりに、殺虫スプ



レーをかけなきゃいけないんじゃない？

M：何でそんなに気にするんだよ。僕はただアリの行動を観察してるだけじゃないか。別に変わったことじゃないよ。面白いよ。

W：だけど、お母さんはアリを始末しなさいって言ったでしょ、エサをやるんじゃないくて。

M：そうしようと思ってたんだけど、キッチンに殺虫スプレーをまいてアリを退治するよりもいい方法があるんじゃないかと思って図書館でアリの本を借りたんだ。虫を殺すのに使う毒は人間にもよくないからね。

W：本には何て書いてあるの？「アイスクリームを与えて『出て行って下さい』ってアリに頼め」って？

M：いや。「小さな生命を大切に。エサはケーキのかけらを。ホイップ・クリームも好物。虫メガネを使ってよく見てみよう。」みたいなことだよ。だからそうしたんだけど、ただホイップ・クリームがなかったから、アイスクリームを使ったんだ。

W：図書館にはあんなに本があるのに、その中からあなたと同じくらい変わった人が書いた本をよく見つけたわね。

M：とても有名な博物学者が書いた本だよ。バカにする前にその人のエッセイを読んでみたらどう？ 小生物を観察すると、いろいろなことがわかるんだって。特に、アリやミツバチみたいな群れを作る昆虫はね。アリの群棲は人間社会とは全然違うけど、かなり発達してるんだよ。

W：そう？

M：例えば、アフリカやアジアの熱帯雨林の樹上に住むハタオリアリ。群れの大きさと、縄張りを支配するんだよ。20万匹以上もの働きアリがいるんだ。

W：木にたくさんのアリがいるの？

M：それは別にどうでもいいんだ。大事なのは、このアリたちはすごく発達したコミュニケーション体系を持っていて、そのおかげで、自分たちの体の大きさに比べてものすごく広い領域を支配できるってことだよ。人間は主に視覚と聴覚によって意思を伝えるけど、アリは味覚と嗅覚を使うんだ。ハタオリアリは、わかっている中では最も複雑な化学的コミュニケーションの体系を持ってるんだ。化学物質を分泌して、その匂いや味を他のアリが感じることによって、いろいろなメッセージを伝えることができる。本には、信号を察知しようとアリ同士が触れ合っている写真が載ってるよ。

W：そのアリはどうしてハタオリアリって呼ばれてるの？ 布地を織るから？ それとも、ウィーバーっていう人が発見したから？

M：布地を織ったりはしないけど、ものを縫うのに似た技術は持ってるよ。巣を作るのに葉っぱを重ねて、子供のアリが作った糸でくっつけるんだ。大人のアリは妹アリたちを集めて、生きた機織り機みたいに使うんだ。奇妙なようだけど、本にその写真も載ってるよ。

W：へえ。うちのキッチンのアリがそんなことをしてるのは見たことがないわ。

M：葉っぱを重ねるのに、自分たちが鎖になる——つまり、アリたちがお互いの腰の辺りをつかんで、葉っぱの端を引っ張ることもあるんだ。そうしている写真も本に載ってるんだよ。作業を終わらせるために、鎖を2個以上作ることもあるんだ。

W：わかったわ。アリはなかなか興味深いということはわかったけど、アリにアイスクリームを買ってもらえるように、がんばってお母さんを説得しないとね。

注

- ℓ. 2 ◇ feed 「～にエサをやる」
- ℓ. 5 ◇ weird 「風変わりな；奇妙な」
  - ◇ *what if* I had brought ...? = *what would have happened if* I had brought ...?
- ℓ. 6 ◇ it would be embarrassing for me to ... 「…するのが私には困る」
  - ◇ have ... 「～に…される」
- ℓ. 7 ◇ get rid of ... 「～を取り除く；始末する」
- ℓ. 8 ◇ shouldn't you be ...*ing*? 「…してるはずじゃないの？」
  - ◇ spray ... with ... 「～に…を吹きかける」
- ℓ. 9 ◇ get upset (about ...) 「(～のことで) 落ち着きを失う；うろたえる；気にする」
  - ◇ observe ... 「～を観察する」
- ℓ. 12 ◇ see if ... 「…かどうか調べる」
- ℓ. 15 ◇ What did the book say? 「本には何て書いてあったの？」
  - ◇ convince ... to ... 「～を説得して…させる」
  - ◇ politely [convince にかかる]
- ℓ. 17 ◇ crumb 「(パン・ケーキなどの) くず；かけら」
- ℓ. 18 ◇ magnifying glass 「虫眼鏡；ルーペ」
  - ◇ closely 「よく注意して；念入りに」
- ℓ. 20 ◇ of all the books ... you managed to find one ... 「～の多くの本の中から（よりによって）…の本を見つけ出した」
  - ◇ someone as ... as you 「あなたと同じくらい～な人」
- ℓ. 22 ◇ naturalist 「動植物研究家；博物学者」
- ℓ. 23 ◇ make fun of ... 「～をバカにする；からかう」
- ℓ. 24 ◇ social insect 「群居する昆虫」
  - ◇ colony 「群棲；群落」
- ℓ. 25 ◇ highly developed 「かなり発達した」
- ℓ. 28 ◇ dominate ... 「～を支配する」
  - ◇ because of the size of ... 「～の大きさのために→～が非常に大きいので」
- ℓ. 29 ◇ they can contain ... 「～もあることもある」
- ℓ. 31 ◇ That's not the point 「それが問題なのではない」
- ℓ. 32 ◇ allow ... to ... 「～に…させておく」
  - ◇ huge 「巨大な」 (⇔ tiny)
- ℓ. 33 ◇ while ..., ... 「～だが, 一方, ...」
- ℓ. 34 ◇ complex 「複雑な」
  - ◇ chemical 「化学物質」
- ℓ. 40 ◇ sewing 「裁縫；縫いあわせること」
- ℓ. 41 ◇ nest 「(鳥・昆虫などの) 巣」

◇ fold ~ together 「～を重ねあわせる」

◇ stick ~ together 「～をくっつける」

ℓ. 42 ◇ immature 「未熟な；子供の」

◇ pick up ~ 「～を捕まえる」

ℓ. 43 ◇ sewing machine 「(ここでは) 機織り機」(通常は「ミシン」の意)

ℓ. 46 ◇ grab ~ around ... 「～の…のあたりをつかむ」

ℓ. 47 ◇ waist 「腰」

ℓ. 48 ◇ get ~ done 「～を終える」

ℓ. 50 ◇ admit that ... 「…ということを認める」

◇ good luck ...ing 「(通常命令文で) 頑張って…して下さい」

## 【7】

### 解答

a smoked    b ever    c one

### 解説

a

○ discovered

that

in households

↳ where

the owner ( a )

the dog had a 30 percent higher incidence of the disease.

○ household = a house and its occupants 頻出

cf. count the number of *households* in a country (1 国の世帯数を数える)

*household* pets (家庭のペット)

○ the owner 「犬の飼い主」(ここでは)

○ owner = a person who owns something

○ where 以下は文が成立するので ( a ) には、自動詞が来る。

○ この自動詞は、時制の一致で *smoked* になる。

b

○ ever の基本的な意味は、at any time で、条件節中で用いられると、「いつか；かりにも」の日本語に対応する。

c

○ ones, it, them, cigarettes はこの文脈では不可というのが米国人インフォーマントのコメント。この箇所は hasn't touched one の not ... one で「一本たりともまったく touch していない」の意味となる。

○ since は副詞で、since then (それ以来ずっと) と同意。

○ touch は通常、他動詞として用いられるので、b には目的語、すなわち名詞・代名詞が来るはずと考える。

### 全訳

私は煙突人間と結婚して 43 年になる。マイクはかつて手にしたあらゆる上等な背広を焼

いて穴を空け、あらゆる家具を台無しにし、一度は我々のベッドに火をつけた。去年彼が心臓発作を起こした時、彼は若い甥に金をやって、煙草を病院の彼のところへこっそりと持って来させた。

もし論理の法則が働くのならば、マイクは肺ガンにかかっていたであろうが、実際に起こったのはそうではなかった。生涯煙草を吸ったことのない私がそれにかかった。数カ月前、私は片肺を切除し、医師は、私には努力すればあるいは完治するかもしれない見込みがある、と言った。マイクは喫煙をやめたと思いますか。彼はやめなかった。私が自分の生命のために闘っている間、彼は煙草をふかし続けた。

2週間前、彼は新聞で、ある獣医が犬の肺ガンについてのある研究を行い、飼い主が喫煙する世帯においては、その犬のその病気の発生率が30%高いということを発見したということを読んだ。マイクがこの記事を読んだ時、彼は言った。「ああ！私はこれをやめなければならぬ。もし何かがチャンプ（我々の10歳のビーグル犬）に起こったら、私は自分を決して許さないだろう。」彼は煙草をその時その場で投げ出し、それ以後1本も触れていない。

**注**

ℓ. 2 ◇ furniture U = the movable objects that are used to make a room or building suitable for living or working in.

cf. a piece

an article

an item

of furniture 「家具一揃い」 頻出

◇ set fire to ~ = cause ~ to burn 頻出

ℓ. 3 ◇ a heart attack = a sudden coming on of pain in the heart, with irregular beating  
「心臓発作」

○ attack = a sudden short *spell* (発作) of an illness.

◇ bribe = dishonestly pay (someone) to act in *one's* favor

◇ nephew 「甥（おい）」 cf. niece (姪（めい）)

◇ sneak = do or take (something) secretly

ℓ. 5 ◇ If the laws of logic were working Mike would have gotten lung cancer …

○ if 節が仮定法過去で、主節が仮定法過去完了になっているのは、筆者がthe laws of logicなどは通常機能しないと思っているから。

○ get lung cancer 「肺ガンにかかる」

○ cancer は U。

◇ that is not the way it happened 「実際に起こったのはそうではなかった」

※ way を含む決まり文句は重要。

- That's the *way* it is [goes].  
= That's the *way* things are [go].  
= That's the *way* the world goes. (世の中ってそんなものだ。)  
○ 落胆している相手, あるいは自分を慰めて使うことが多い。
- Be careful on the [your] *way*.  
(《パーティーなどがあって, ホストが客に》気をつけてお帰り下さい。)
- You're in the *way*. (邪魔なんだよ。どいてくれ。)
- Get out of my *way*. (道を開けて下さい。)
- We're on our *way* there, too.  
(《道を尋ねられて》私たちもちょうどそこへ行くところなんです。)
- I have a long *way* to go before I've finished this report.  
(この報告書が仕上がるまでまだまだだ。)
- Is there any *way* I can go to sleep? (なんか眠れる方法ある?)
- Isn't there some *way* you can do it? (どうしてもだめ?)  
○ すでに何度も断られている状況でしつこく頼む表現。
- There's no *way* to tell. (先のことは誰もわからないよ。)
- There's no *way* around it. (どうしようもないね。お手上げだね。)
- I just don't see it that *way* at all. (そのようにはちっとも思いません。)
- The teacher goes [takes] her (own) (sweet) *way*.  
(その教師はいつも自分の思い通りに振る舞う。)
- If I had my *way* ..., 「自分の考えを述べさせてもらおうと...。」
- His business is in a bad *way*. (彼の商法はうまくいっていない。)
- Can you tell me the shortest *way* to the Port of Yokohama?  
(横浜港に行く最短の道順を教えてください。)
- Be nice to people on your *way* up. (登り坂では人を大切にしよう。)  
○ 「偉くなっても威張らないこと。逆の立場になることもあるから。」という  
処世訓として用いられる。
- in a *way* = in one *way* 「ある点で; ある意味で」
- in every *way* = all along the *way* = in all *way* 「どの点からみても」
- The plan is bad (in) one *way* and another.  
(その計画はいろんな点でよくない。)
- The *way* I see it, the economy won't improve without structural reform.  
(私の見るところでは, 構造改革なくして景気回復はない。)
- In space technology, Japan is *way* behind the US.  
(宇宙科学の技術では, 日本はアメリカにずいぶん遅れをとっている。)  
○ このwayは「はるか; ずっと」の意味で, 受験生の盲点。

- ℓ. 6 ◇ got it = got cancer
- ℓ. 7 ◇ remove = get rid of  
 ◇ a fighting chance = a possibility of success if great effort is made 「懸命に努力すれば得られる成功の見込み；わずかな勝算」
- ℓ. 8 ◇ fight for ～ 「～を得るために戦う」  
 ◇ puff away = blow away by puffing < puff = smoke a pipe, cigarette or cigar
- ℓ. 9 ◇ read [réd] in the paper that … 「新聞で…の内容を読んだ」  
 ○ 日常的に購読する新聞は決まっているので、一般論でもない限り「新聞を読む」という時は paper [newspaper] には the が付く。  
 ◇ veterinarian [vɛtərənɛəriən] = veterinary surgeon; a person qualified to treat diseased or injured animals  
 < veterinary (形) = relating to the treatment of injuries and disease in animals  
 ◇ research = the study of materials and sources in order to establish facts and reach new conclusion  
 cf. They are doing *research* on the effects of brain damage.  
 (彼らは脳損傷の影響について研究している。)  
 the influence of scientific *research* on our daily existence  
 (科学の研究が日常生活に与えた影響)
- ℓ. 11 ◇ incidence = the occurrence rate, or frequency of something つづり注意  
 cf. an increased *incidence* of cancer (増加したガンの発生率)  
 the high *incidence* of bone injury (骨折の高い発生率)  
 ※同義語の *occurrence* を選ばせる問題で頻出  
 ○ incident = ① an event ② a violent event, such as an attack ③ the occurrence of dangerous or exciting events  
 cf. an international *incident* (国際問題の紛争)  
 the *incident* of rural life (田園生活のエピソード)  
 ○ incidental = occurring in connection with or as a result of something  
 ○ incidentally = ① by the way ② in an incidental way  
 cf. I am a wife. And, not altogether *incidentally*, I am a mother.  
 (私は妻である。そしてついでという訳ではないが、母親でもある。)  
 ◇ article = a piece of writing in a newspaper or magazine  
 ◇ My God!: used to express surprise, anger, etc. or for emphasis
- ℓ. 12 ◇ ever = at any rate 《if 節で》「(もし) 一度でも；とにかく」  
 cf. If you *ever* feel lonely, give me a call. (もし寂しいと思うことがあれば、電話してくれ。)  
 No one *ever* comes to see me. (今までに誰も訪ねてこない。)  
 Nothing good *ever* ends. (よいものは決して滅びない。)  
 Why *ever* didn't you go? (なぜ君は行かなかったのか。)  
 They lived happily *ever* after. (その後彼らはずっと幸福に暮らした。)

*ever*-advancing (とどまることなく前進する)

the biggest-*ever* industrial scheme (史上最大の産業計画)

her first-*ever* solo crossing of the Pacific (史上初の太平洋単独横断)

ℓ. 13 ◇ beagle 「ビーグル犬」

◇ throw out = get rid of something because it is no longer useful; discard

◇ right = exactly; directly 重要

ℓ. 14 ◇ since = since then; from the time mentioned until the present

## 添削課題

### 解答例

Two men in an office building are greeting each other by bowing. One of the men was in the elevator when they met, however, and has gotten his head stuck because the doors closed on his neck. He seems to be choking, but the other man is grinning rather than trying to help him. [54 words]

### 別解

Two men are bowing to each other in an office building. One of them was in the elevator when he bowed, and the doors closed on his neck. The man in the hallway has a mean smile on his face, and is not trying to help the other man, so it may be that he deliberately tricked the other man. [60 words]

### 解説

- Writing questions based on cartoons or other illustrations are common on entrance exams, including the University of Tokyo's. Pay attention to the way the question is worded, whether the instructions are given in Japanese, English, or both.
- Normally, the description of the scene in the picture is described as if it is happening now. The most common errors with this kind of writing are incorrect or inconsistent usage of verb forms.
- Additional Comments:
  - The present progressive form (in **bold print**) is most common: it describes action in progress now.
  - Simple present (underlined) is used with stative verbs such as *be*, *have*, or *seem*.
  - Present perfect (in *italics*) indicates that something that happened in the past still has an effect on the present.
  - However, past tense (underlined and in *italics*) may also be needed to explain what happened before the scene in the picture.

Two men in an office building **are greeting** each other by bowing. One of the men was in the elevator when they met, however, and *has gotten* his head stuck because the doors closed on his neck. He seems to be choking, but the other man **is grinning** rather than trying to help him.

Two men **are bowing** to each other in an office building. One of them was in the elevator when he bowed, and the doors *have closed* on his neck. The man in the hallway has a mean smile on his face, and **is not trying** to help the other man, so it may be that he deliberately tricked the other man.

- In both of the above model answers, the past tense was used several times because the cartoon depicts the result of an accident that has just happened.